

平成29年度  
第2回北杜市環境審議会

会 議 録

北杜市生活環境部 環境課

## 第2回北杜市環境審議会 会議録

- 1 会議名 第2回北杜市環境審議会議事録
- 2 開催日時 平成29年7月12日（水）午後3時00分～午後4時00分
- 3 開催場所 北杜市役所 西会議室
- 4 出席者（敬略称）  
出席委員  
仲澤幸雄、浅川一恵、三井茂、田崎尚弥、坂本日登美、高橋勝彦、草野香壽恵、  
浅川正人、藤森勇、岩波光代、井上安秋、赤羽素子、長坂正、功刀美津子、小松  
武彦  
欠席委員  
八巻美弥子、田中隆  
事務局  
環境課長 中山和彦、環境保全担当 田丸敬一、環境保全担当 平井友理  
株式会社サンワコン 進藤敏夫、森洋市、吉川真由  
会議録署名委員  
坂本日登美、高橋勝彦
- 5 議事
  - (1) 第2次北杜市環境基本計画の策定について
    - ①計画の基本的事項について
    - ②計画策定に向けたスケジュール
    - ③アンケート調査について
    - ④区長・地域委員ヒアリングについて
  - (2) その他
- 6 公開・非公開の別  
公開
- 7 傍聴人の数  
0名

## 会議

### 1 開会（仲澤副会長）

### 2 会長のあいさつ（草野会長）

○北杜市長より環境審議会に対し、諮問書の提出（中山環境課長 代読）

○株式会社サンワコン紹介

### 3 議事

（議長） それでは議長を務めさせていただきます。スムーズな進行が出来ますよう、皆様のご協力をお願い致します。今回の議事録の署名につきましては、坂本日登美委員、高橋勝彦委員をお願い致します。よろしくお願ひします。

では議事に入ります。議題の「（１）第２次北杜市環境基本計画の策定について」事務局よりお願ひ致します。

■「（１）第２次北杜市環境基本計画の策定について」、事務局から説明。

（議長） ありがとうございます。事務局からの説明が終わりましたので、この①～④の件について、総合的にご意見のある方、挙手をお願いします。

（委員） アンケート調査というのは、A3用紙の『第２次北杜市環境基本計画策定に向けたスケジュール』の「住民意識調査」にあたるのでしょうか。

（事務局） はい、そうです。

（議長） 他にございますか。

（委員） アンケート調査について、配布数は、北杜市全体で1,000件ですが、この場合、偏りはないのでしょうか。また、配布先はどのように決めるのでしょうか。ランダムに選ぶのでしょうか。

（事務局） 今回は、市民向けアンケートと事業者向けアンケートがござひます。

市民向けのアンケートにつきましては、性別・町別・年齢別に人口を算出し、その比率に基づいて無作為に抽出を行います。これは機械で処理をしていきますので、こちらで作為的という事は特にござひません。

事業者側ですが、産業分類17区別ありますが、事業所数を北杜市内の状況と同じように算出し、全体の割合の比率から業種にある業者を何社という形で、出来るだけ一つの業種に特化した形ではなく、色々な形の業種が拾い上げられる形を考えております。

（委員） ランダムで抽出という事ですね。はい、わかりました。

(委員) アンケートを回収したとき、年齢別・地域別というのは、回収率に地域性が出ると思います。意識の高い地域と低い地域があるので、それらが反映されるか心配です。

(事務局) アンケートの対象は年齢別・地域別に機械で無作為に抽出しております。地域によって回収率に差が出るかもしれませんが、それはあくまでもアンケートの結果であって、その結果を元に今後計画作りをしていくことになるので、地域によって意識の高い低いがあっても問題は無いと考えております。

(議長) 私もそう思います。色々な考えがあって、そこでアンケートが成り立つのであって、地域差があって、それを統合的に判断するわけですから、それは問題ないと思います。

他にございますか。

(委員) 分析というのは、どなたがされるのですか。

(事務局) 株式会社サンワコンで、アンケート結果を分析し、計画に反映していくという形になります。

(議長) 私からよろしいでしょうか。ワークショップの内容ですが、どうして景観にこだわるのですか。

(事務局) 説明した事例は景観ばかりでしたが、今回のワークショップでは環境全般を対象としており、景観以外も対象としています。例えば、どうい生きものがあるかなども対象としていきたいと思います。この資料はあくまでも参考です。

(議長) あまり景観というところに特化しないで欲しいと思います。

(委員) アンケートの3ページ目、満足度や重要度の質問ですが、ある程度答えに方向性が欲しいと考えるのであれば、「わからない」という回答を作るのはどうかと思います。回答者は答えやすいかもしれませんが、基準をどこにおくか、どちらよりなのか判断しやすいようにした方がいいのではないのでしょうか。後の質問の回答を見ると「わからない」という選択肢がないので、統一してもいいのではないのでしょうか。

(議長) このアンケートは事務局で作ったものですか。

(事務局) 資料3-2の3ページの満足度と重要度の回答では「どちらともいえない」を含めた5項目になっており、隣の4ページでは「分からない」を含めた4項目になっています。こちらの意図としては、どちらかといえばどうなのかという方向性を見出したいと思い、選択肢をこの5項目に絞っている状況です。

今のご意見について、今回初めてアンケートを行うため、最終的に「わからない」と答える回答者がどれくらいいるのか、どういう方向に転んでいくのか見えていない部分があります。それについては、今日すぐにお答

できない状況ですが、サンワコンの全国的な過去の事例や意見を参考にしながら、事務局の方で検討して、アンケートの実施に進めていけたらと考えています。

(委員) 市民と事業者の両方にありますが、アンケートの「5. その他」について、「北杜市の環境をよりよくするアイデア」とありますが、何を書いて良いのか分かりません。「アイデア」ではなく、「方法」とか「方策」の方が分かりやすいのでは。何か別の言葉はありませんか。

(議長) あまり難しい言葉でいうと、それが重荷になる場合もあります。「アイデア」というと気軽に書ける所があるのではないのでしょうか。

(事務局) 最初は「環境をよくするご意見・ご要望」と書いていたのですが、隣の欄の「環境に関するご意見・ご要望」と同じ設問になってしまうので、苦肉の策で「アイデア」としました。

(委員) アンケート調査の配布数について、何故1,000件と、200件にしたのでしょうか。北杜市民の傾向を計画に反映させるのであれば、数は多い方がいいのではないのでしょうか。この配布数にした根拠を教えてください。

(事務局) まず、市民1,000件、事業者200件についての根拠ですが、分母がどのくらいあって、それに対してどのくらいの回収率、最終的にどのくらいの数字が求められるのかといったものを考慮する必要があります。本来ならば、数が多ければ多いほど回収率の分子の部分が増えてくるので、より市民の声を取り入れられるのですが、結論から言うと、日程的な部分で決定しました。回答率は、概ね3割とサンワコンからアドバイスを頂いており、こうした中で、市民から約300件の回答が得られればという意図があります。本来ならば、もう少し配布数があるとよいのですが、最終的にスケジュールの関係で数字を定めたという状況です。

事業所につきましても、市民と概ね同じような考えで200件と定めさせて頂きました。

(議長) ありがとうございます。

他にございますか。

(委員) 質問ではないのですが、今のお話を聞いていて、アンケートだけではなく、地域委員のヒアリングなども含めて色々な意見を取り入れて計画の方向性を決めていくのだろうなということが説明でわかりました。回収率を聞いて少ないと思いましたが、アンケートだけでなく、地域委員や区長のヒアリングもあるということですし、色々な意見を取り入れれば、あまり偏った意見にならないと思います。完璧でなくても、これなら良いのかなと感じました。

また、たまたま近くで来年春に事業を開始する会社の説明会を聞く機会があり、行って来たのですが、騒音や悪臭、下水道への対策や、勤務時間

である5時 15分を過ぎたら騒音を出さないなど、環境に配慮した取り組みの説明を受けました。こういう事に関して、届出を出す時に市から指導があったのか分かりませんが、事業者さんも工場など作る場合は環境について考えているのだと感じました。こういった事業者さんの意識を吸い上げられると良いのですが。

(議長) アンケートの配布数が少なくても区長や地域委員の意見を聞く機会があるので、それで市民の意見を取り入れる場を補完できるということですね。

(委員) 市民アンケートで1ページの(3)について、旧町に○を付ける事になっています。性別・年齢別・旧町別で振り分けていますが、地域によって人口も地域の環境も違うので、人口で抽出すると回答が偏ってしまうのではないのでしょうか。回答が偏ると当然環境の問題や考え方も偏るので、その結果を吸い上げて計画に反映させることは難しいのではないのでしょうか。どんな形で反映するのでしょうか。偏った回答結果に基づいて審議を進めることになる可能性もありますが、その点はどうお考えですか。

(議長) 事務局どうぞ。

(事務局) そのご意見はあるのかなと思います。私達の方でも、地域によっては、高齢化率が高く、ご年配の人に多くアンケートを送る可能性はあります。その一方で返ってきた回答にも少し偏りが出てくる可能性もあります。これについては、やってみないと分かりませんが、返ってきた回答はその地域の特性でもあると思っております。結果については、資料1の4ページの中に記載している「第5章 環境像の実現に向けた各地域の取組」とか、こういった所に地域のそれぞれの意見が反映されてくると思います。また、環境に対しての意識の高さ低さもそれが基礎データになると思います。良かれ悪しかれそれが基本的な基本計画の資料の一つになるため、バラつきが出て、問題ないと考えております。

それよりも、一番懸念しているのは、回答が無いということです。時間的制約から、配布数が限られていますが、より踏み込んだ内容を検討するためには、回収率3割ではなく、4割、5割と、多ければ多いほど良いと考えております。

分析する中でバラついた意見が出てくるかもしれませんが、回答が無ければ審議することもできません。もし、知り合いの方でアンケートが届いた方がいれば、ぜひ委員の皆さんから助言をお願いします。

(議長) ありがとうございます。

他にございますか。

- (委員) 区長、地域委員のヒアリングは、会長、副会長限定とお考えですか。
- (議長) 先ほどの説明ではそのようでしたね。
- (委員) それもいいかもしれませんが、地域委員会代表2名という考え方で、会長などに拘らず委員会から2名選ぶというやり方もあると思いますがどうでしょうか。会長・副会長が忙しいという場合もあるでしょうし、委員会の内容によっては、専門の人がいるかもしれません。選ばれた人が出た方が出やすいのではないのでしょうか。
- (議長) 地域委員も地域によって柔軟に対応するでしょうし、事務局に伺いたいと思います。
- 地域委員の会長・副会長の都合が悪ければ、どのように選出するのでしょうか。
- (事務局) 地域委員を会長・副会長とさせて頂いたのは、地域委員の中で全体を掌握しているのかなという点で、案として挙げさせて頂いております。いずれにしても会長・副会長に通知をお送りする形になりますが、その際に地域委員の中から2名の選出をお願いしますという形で、会長・副会長に限定せずをお願いするという事も出来ますし、もし地域委員の中で環境や自然など、地域特性に詳しい方がいらっしゃれば、そういう方も出て頂けるよう、柔軟に対応できるよう検討していきたいと思います。
- (委員) わかりました。
- (議長) 他にございますか。
- (委員) 区長、地域委員のワークショップが2回ありますが、それは同じ人に2回来ていただくというイメージですか。
- (事務局) はい、そうです。
- (委員) それと、地域別環境配慮指針というのは、計画のどこに反映されていくのですか。
- (事務局) 今の所、資料で言うと、2次環境基本計画の第5章以降の部分に入る形になります。ただし、実際はワークショップをやっていく中で、構成が出来てきますので、今現在は、具体的な部分は見えてきてない状態です。いずれにしても、第1回の中では4つのテーブルに分かれてご意見を頂戴し、第2回では、それぞれの地域のアンケート結果やワークショップの結果などをフィードバックしながら、第2次環境基本計画の中身を詰めていき、最終的には各地域の特性や方針を決めていく形になると思います。
- (委員) それは、この計画の中で反映されるという事なんですね。
- (事務局) そうですね。第2次環境基本計画の後半部分に入れていきたいと考えています。

(委員) 分かりました。

(議長) 他にありますでしょうか。

ないようですので、これで①～④の部分は終わらせて頂きます。

■ (2) その他

(議長) その他で何かありましたらお願いします。

なければ、事務局は何かありますか。

(事務局) 本日は第2回の環境審議会という形で開催させていただきました。次回は概ね10月頃を考えております。日程は、アンケート調査結果や庁内ヒアリングなどの進捗を踏まえ、直近になりましたらご連絡させていただきます。また、第3回は、資料にボリュームが出てきますので、おそらく1週間くらい前には、会議資料などを事前にご自宅へ送付させて頂きたいと思っておりますので、予めご承知頂ければと思います。よろしくをお願いします。

(議長) それでは、以上で終了致します。スムーズに進行できました。ご協力ありがとうございました。

(事務局) 会長ありがとうございました。以上で議事を終了させていただきます。

4 閉会 (仲澤副会長)

会議終了 午後4時00分

以上、平成29年度第2回北杜市環境審議会の内容を記載し、その内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

署名 \_\_\_\_\_ (印)

署名 \_\_\_\_\_ (印)